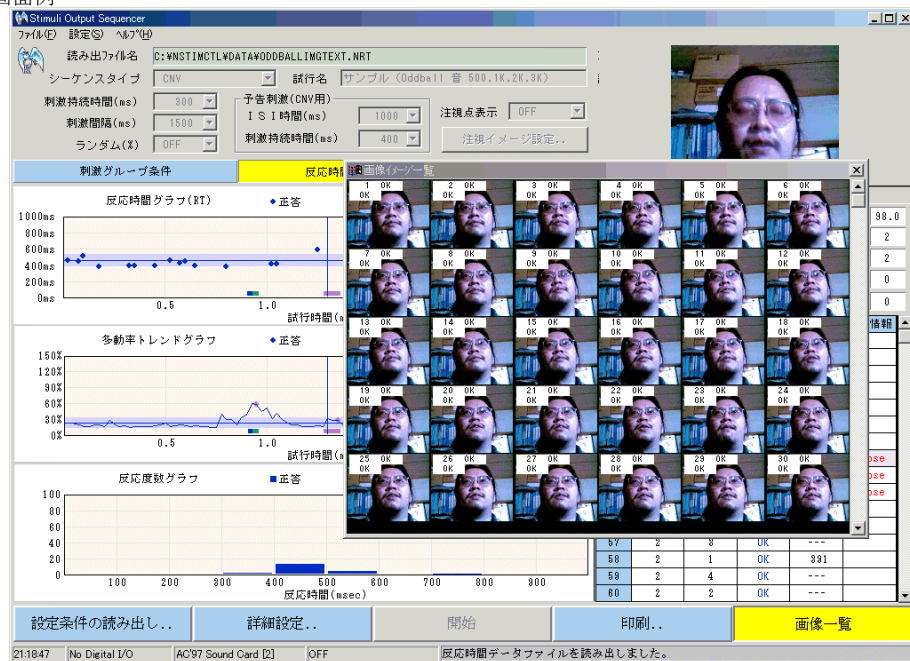


刺激出力シーケンスプログラム (*Stimuli Output Sequencer Program*) の画像収録オプション機能は、PCにUSBカメラを接続して、検査中の刺激タイミングで1コマづつ画像を収録保存します。保存画像を確認し、検査の確実性を向上させることが可能です。結果は、テキスト形式 (CSVファイル) の保存やレポート印刷が可能です。

特徴

- Windows環境の高性能ノートPC及びデスクトップPC上で動作します。
Windows2000, Windows Xp, Windows7でUSBポート付、DirectX9.0のインストールが必要
- USBカメラ画像を取り込みます、確認モニタが可能です。
- 画像の収録結果を画面で確認できます。 1コマずつの確認と一覧形式での確認が可能です。
確認時に、画像エラー情報（よそ見、範囲外、閉眼）を指定できます。
- 画像の差分を定量化してトレンド表示します。
- 画像データはIMG形式（JPEG形式のオリジナルフォーマット）で保存します。
- エラー画像をレポート印刷します。
- 操作ヘルプが充実。

画面例



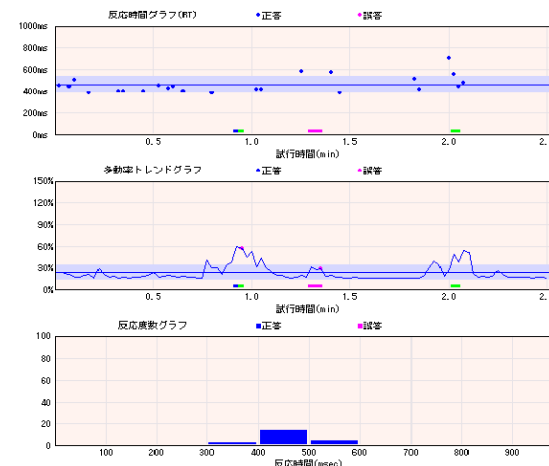
使用USBカメラ例 (Logitech社のLogicoolシリーズなど)



画像レポート例

反応時間トータルレポート

サンプル (Ubuntu 音 50K, 16Z, 32K)				
開始時間	2006/05/31	10:21:37		
音声グループ数	4			
基本イベント数 (sec)	1500			
イベント数/プログラム (%)	0			
音声トリガ持続時間 (sec)	300			
反応時間 (sec)	100	1000		
音声1	映像音声	映像数 [1]		
音声2	映像音声	映像数 [1]		
音声3	映像音声	映像数 [1]		
音声4	映像音声	映像数 [1]		
反応時間/属性/結果				
トータル結果数	100			
正反応数	98			
正音率 (%)	98.00			
正反応時間/平均 (秒/回)	406.15	81.25	0.175	
誤反応数	2			
先読込 (回) 数	2			
おぼろげ (回) 数	0			
総読込 (回) 数	0			
誤読込 (誤読/明否/暗読数)	0.905	411.04	0.480	
読込1-準読込1 (総読込/暗読)	1	5		
読込2-準読込2 (回/回)	23.52	10.494	0.440	



仕様

- 入力可能カメラ USB 接続型カメラ (30 万画素以上)
 - 収録タイミング 刺激提示後の任意時間後に 1 ショット (時間精度はカメラ転送速度などによる)
 - 最大収録画像数 最大 1 2 0 0 画像 (1 2 0 0 刺激まで対応可能)
 - 結果表示 1 画像ごとの確認、一覧での確認、
画像情報の付加 (よそ見、範囲外、閉眼の識別)
 - 多動率トレンド 画像解析した多動率のトレンド表示が可能
 - 画像ファイル IMG ファイル形式で NRT ファイルと同じ場所に保存
 - レポート印刷 画像エラーの数、エラー画像だけの印刷
- このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。**

動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) ペンティアム4 1GHz 以上 USB ポート
- メモリ 512MB 以上 (Win7, Win8 は 2GB 以上), ハードディスクの残り容量 5GB 以上
- SVGA (800×600) 以上の解像度 カラー分解能 16, 24 ビット DirectX9.0 のインストール、
- 対応 OS Windows2000, WindowsXp, Windows7, Windows8 (すべて日本語環境)

価格(税抜) (すでに刺激シーケンス基本ソフト購入していること)

オプション価格 定価¥150,000 (USB カメラは別売)

PC 送付によるインストールサービス 定価 ¥10,000

現地での納入・説明は別途費用がかかります。

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp

〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。